

マスネ《ドン・キホーテ》初版・初期楽譜（水谷彰良コレクションより）

《ドン・キホーテ (*Don Quichotte*)》5 幕の英雄劇 (コメディ・エロイック *comédie héroïque en cinq actes*)

台本：アンリ・ケーン (Henri Cain,1857-1937) がジャック・ル・ロレン (Jacques Le Lorrain) の韻文劇『面長の騎士 (*Le Chevalier de la longue figure*)』(1904 年) に基づいて作成。

原作：セルバンテス (ミゲル・デ・セルバンテス・サアベドラ Miguel de Cervantes Saavedra,1547-1616) の小説『ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ (*Don Quijote de La Mancha*)』(1605/15 年)

註：『英知あふれる郷土ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ (*El ingenioso hidalgo Don Quijote de La Mancha*)』の題で 1605 年に前編が出版され、後編は『英知あふれる騎士ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ、第 2 部 (*Segunda parte del ingenioso caballero Don Quijote de La Mancha*)』として 1615 年に出版。

作曲：ジュール・マスネ (Jules Massenet,1842-1912)

初演：1910 年 2 月 19 日モンテカルロ、オペラ座 (L'Opéra de Monte-Carlo)

作品について

マスネ晩年の名作《ドン・キホーテ》は、原作がセルバンテス『ドン・キホーテ』に遡るオペラ。14 世紀末頃のスペインを舞台に、美女ドウルシネから山賊に奪われた首飾りを取り戻すよう求められた騎士ドン・キホーテが従者サンチョと共に奪還に向かう冒険譚で、使命を果たしたドン・キホーテは村人たちに嘲笑され、失意のうちに息を引きとる。初演は 1910 年 2 月 19 日にモンテカルロのオペラ座で行われ、タイトルロールをフォードル・シャリアピン (Фёдор Иванович Шаляпин,1873-1938) が演じて大成功を収めた。日本初演は 2000 年に新国立劇場で行われた。

初版楽譜

◎初版楽譜(ピアノ伴奏譜) パリ、ウージェル商会、1910 年 プレート番号:H. & Cie. 24,332

Spartito riduzione per canto e piano., Heugel et Cie.,Paris,1910.

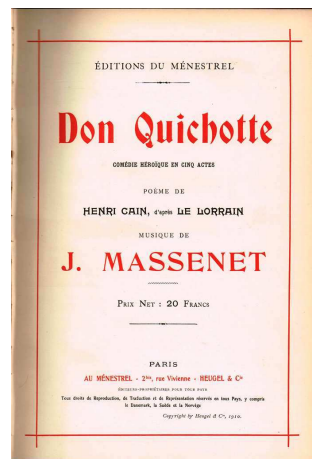
[First edition,first issue]

* 1 vocal score ([8],244 p.) ; 27.5×18.5 cm, N. di lastra: H. & Cie. 24,332

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

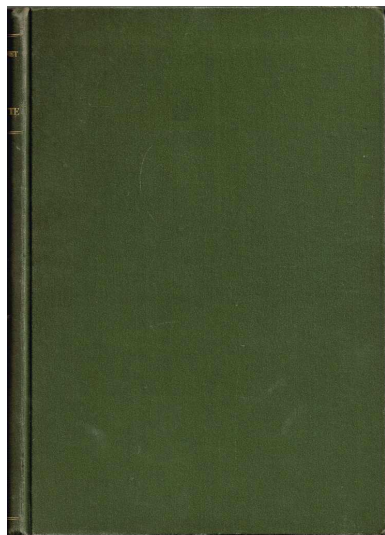
タイトル頁記載：

ÉDITIONS DU MÊNESTREL / Don Quichotte / COMÉDIE
HÉROÏQUE EN CINQ ACTES / POÈME DE / HENRI CAIN, d'après
LE LORRAIN / MUSIQUE DE / J. MASSENET / PRIX NET : 20
FRANCS / PARIS / AU MÊNESTREL - 2bis, rue Vivienne - HEUGEL
& Cie / ÉDITEURS-PROPRIÉTAIRES POUR TOUS PAYS / Tous
droits de Reproduction, de Traduction et de Représentation réservés
en tous Pays, y compris / le Danemark, la Suède et Norvège /
Copyright by Heugel et Cie, 1910.

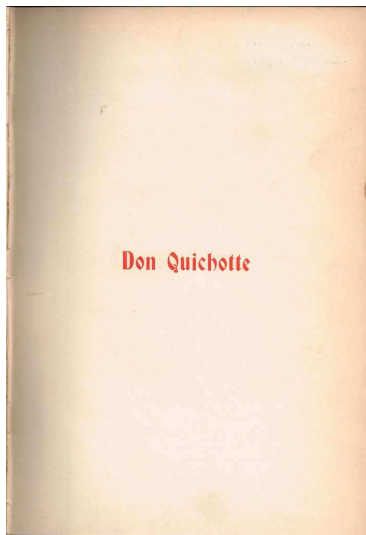


概要 (初版初刷)：

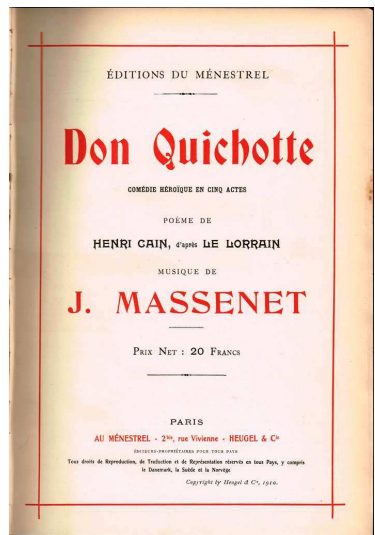
《ドン・キホーテ》の初版楽譜はパリのウージェル商会 (Heugel et Cie.) の刊行したピアノ伴奏譜である。タイトル頁と楽譜冒頭頁の下部に「1910 年」と記載されているが、1909 年秋に制作され、同年 10 月に成立した見本刷りでは初演日が「1910 年 2 月 24 日」となっている (実際の初演日は 2 月 19 日)。筆者所蔵のアイテムは初版初刷の初演日修正版で、1910 年 3 月に作られ、同時代にクロス装ハードカバーで装丁されている (オリジナルの紙表紙は製本時に除去)。外装 27.5×20cm、楽譜部分は 27×18.5cm、出版番号：H. & Cie. 24,332。楽譜に先立つ 8 頁は 2 色刷で、[1]:ハーフタイトル (題名のみ) [2]:無地 [3]:タイトル頁 [4]:無地 [5]: 初演に関する情報 (1910 年 2 月 19 日、モンテカルロ [Représentée pour la première fois, le 19 Février 1910, sur le Théâtre de Monte-Carlo]) と歌手を含む役役 (DISTRIBUTION) [6]-[7]:目次 (TABLE) [8]:無地。楽譜は全 244 頁 (pp.1-244)。第一次世界大戦前の経済状況を反映してか、それ以前のウージェル商会のマスネ初版楽譜に比してデザインと作りが粗末になっている。



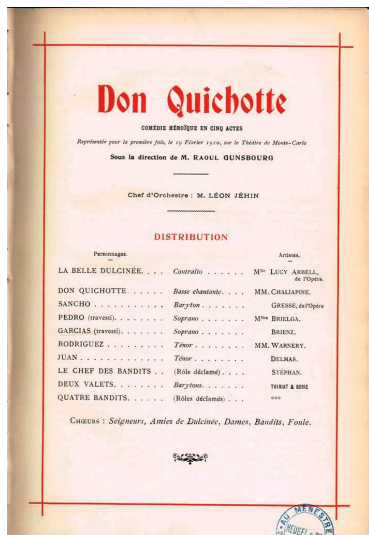
外装



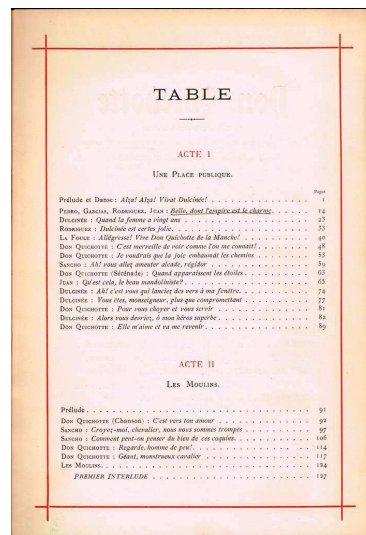
[1]:ハーフタイトル



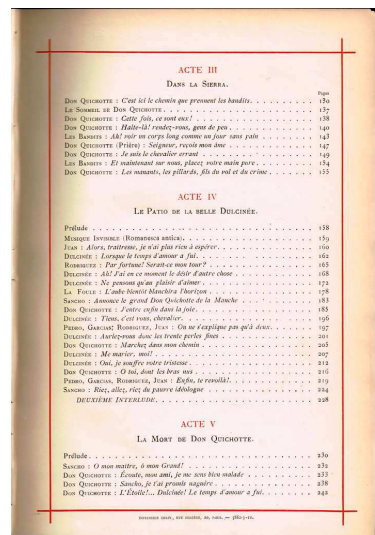
[3]:タイトル頁



[5]: 初演データと配役



[6]: 楽曲目次



[7]: 楽曲目次の続き

初版の2刷 (1910年)

1910年2月19日モンテカルロの世界初演に続いて、5月14日にブリュッセル、11月25日にモスクワ、12月17日にマルセイユで再演が行われた。パリ初演は12月29日にゲテ劇場 (Théâtre de la Gaité [Théâtre-Lyrique municipal]) でなされるが、ウージェル商会はこれに先立ち2刷に当たるピアノ伴奏譜を作成している。筆者所蔵の初刷と2刷を比較すると、楽譜に先立つ部分に差し替えや追加が認められる。次に1910年11月に印刷された2刷の基本情報を示し、タイトル頁の記載を転記する。

◎初版2刷(ピアノ伴奏譜) パリ、ウージェル商会、1910年[11月] プレート番号:

H. & Cie. 24,332

Spartito riduzione per canto e piano., Heugel et Cie., Paris, 1910.

[First edition, second issue]

* 1 vocal score ([10], 244 p.); 28.5×19.5 cm, N. di lastra: H. & Cie. 24,332

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]



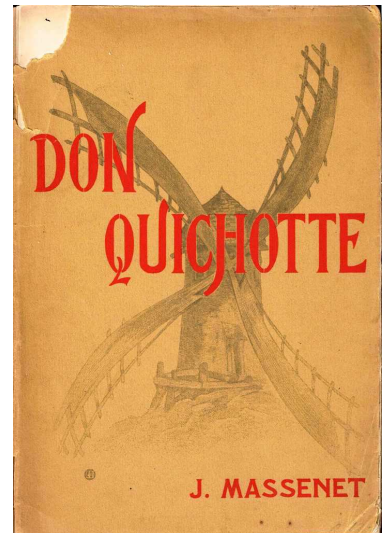
楽譜の冒頭頁(p.1)

タイトル頁記載：

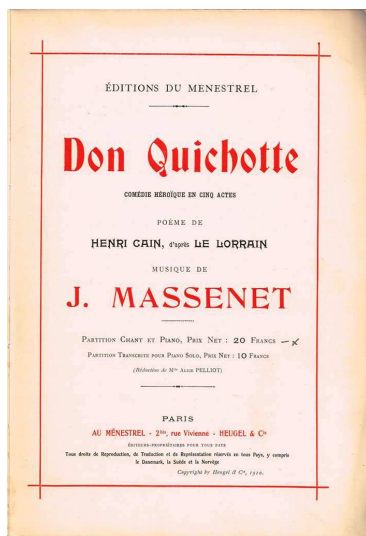
ÉDITIONS DU MÊNESTREL / Don Quichotte / COMÉDIE HÉROÏQUE EN CINQ ACTES / POÈME DE / HENRI CAIN, d'après LE LORRAIN / MUSIQUE DE / J. MASSENET / PARTITION CHANT ET PIANO, PRIX NET : 20 FRANCS / PARTITION TRASCRITE POUR PIANO SOLO, PRIX NET : 10 FRANCS / (Réduction de Mlle Alice PELLIOU) / PARIS / AU MÊNESTREL - 2bis, rue Vivienne - HEUGEL & Cie / ÉDITEURS-PROPRIÉTAIRES POUR TOUS PAYS / Tous droits de Reproduction, de Traduction et de Représentation réservés en tous Pays, y compris / le Danemark, la Suède et Norvège / Copyright by Heugel et Cie, 1910.

筆者所蔵の2刷はオリジナルの紙装丁(表紙左上に剥離あり)で、サイズは28.5×19.5cm、出版番号は初刷と同じH. & Cie. 24,332である。楽譜に先立つ頁はパリ初演でサンチョ役を務めるリュシアン・フュジェール(Lucien Fugère, 1848-1935)への献辞を追加したため10頁に増え、[1]: 献辞(ALUCIEN FUGÈRE / en admiration / L. MASSENET) [3]: ハーフタイトル [4]: 無地 [5]: タイトル頁 [6]: 無地 [7]: 初演に関する情報と歌手を含む配役(追加あり。下記) [8]-[9]: 目次(追加あり。下記) [10]: 無地。楽譜は初刷と同じ全244頁(pp.1-244)である。

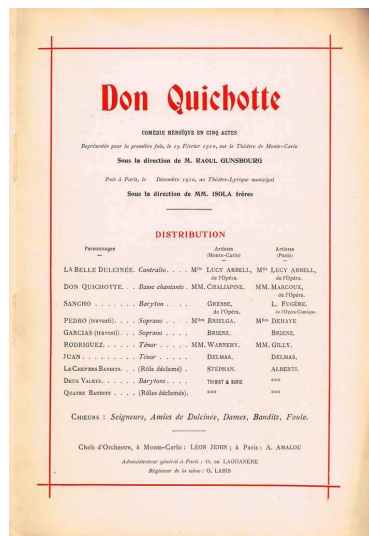
初刷とのタイトル頁の異同はピアノ独奏編曲の価格と編曲者名の追加で、楽曲目次にはピアノ独奏編曲の該当頁が併記されている。[7]には世界初演に続けてパリ初演データを掲載しているが、初演前の制作のため上演日が空白のまま「Puis à Paris, le Décembre 1910, au Théâtre-Lyrique municipal / Sous la direction de MM. ISOLA frères」とし、続く配役にパリ初演の歌手名を掲げている(端役を除く)。楽譜は初刷のままで見当たらない。



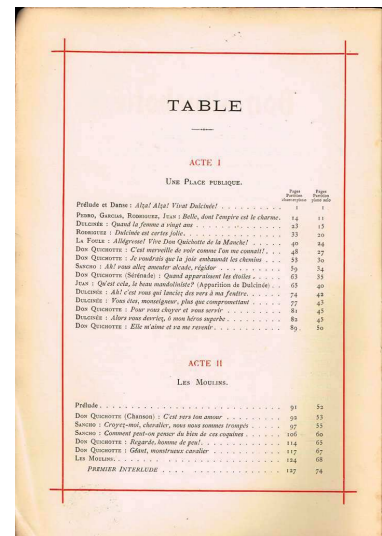
2刷のオリジナル表紙



[5]: タイトル頁(2刷)



[7]: 初演情報と配役(2刷)



[8]: 楽曲目次(2刷)

付記：その後のエディションについて

1910年の2刷に続いて1911年に3刷に当たるアイテムが印刷されたが、これは2刷で空白にしたパリ初演日(29日)を追加しただけと思われる。続いてウージェル商会は各国での上演を前提にドイツ語、英語、イタリア語のエディションを出版しており(1911-12年)、現在流通しているのはフランス語に英語を併記したヴァージョンである(Heugel, HE25323)。註: Heugel社は1980年にA.Leduc社と統合し、現在はLeduc版として再刊。

(2013年7月作成。水谷彰良)